

学習指導要領		都立杉並総合高校 学カスタンダード
<p>(1) 現 代 に 生 き る 自 己 の 課 題</p>	<p>自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二の誕生、周辺人、モラトリアム、アイデンティティの確立といった概念を通して、青年期の意義と課題について理解する。</li> <li>・青年期における自我のめざめについて理解し、自分自身の心理についての考察を深め、自らの心を守る防衛機制の働きについて理解する。</li> <li>・青年期には、自意識の過剰や対人関係における悩みなどを経験し、それらを乗り越えながらアイデンティティを確立していくことについて、エリクソンの考え方を基に説明できる。</li> <li>・他者と共に生きる自己の生き方について、友人や家族など身近な人間関係だけでなく、他の国々の人々とのつながりなどの広い視野に立って考察することが重要であることを理解する。</li> <li>・グローバル化の進展を背景とした、日本人としてのアイデンティティの問題などをおして、自己の生き方にかかわる課題が現代の倫理的課題と結び付いていることを理解する。</li> </ul>
<p>(2) 人 間 と し て の 在 り 方 生 き 方</p>	<p>自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。</p> <p>ア 人間としての自覚</p> <p>人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。</p>	<p>先哲の思想や優れた芸術作品などから多様な価値を学び取り、人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義について主体的に考察し、自己の考えを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古代ギリシアの自然哲学者から新プラトン主義に至る思想的な流れを理解し、神話的な世界観を脱して、理性によって自然や人間の本質を追究したギリシア哲学の展開について説明できる。</li> <li>・一神教徒と多神教について、発祥した地域の自然条件や社会的背景などに触れながら、その相違点を説明できる。</li> <li>・パウロの原罪の思想にみられるキリスト教の人間観について理解し、人類愛の実践を説くキリスト教の精神は普遍的な価値をもっていることを説明でき</li> </ul>

学習指導要領	都立杉並総合高校 学カスタンダード
<p>イ 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラム教の成立過程とその変遷について理解し、同じ一神教であるユダヤ教、キリスト教と比較して、その共通点や相違点を説明できる。</li> <li>・仏教の説く人間観について理解し、「中道」や「慈悲」の教えを実践する生き方について、その現代的な意義を説明できる。</li> <li>・儒教の成立から朱子学、陽明学の発展に至る中国思想の流れを理解し、望ましい人間関係を構築しながら社会生活を営み、経世済民を実現するための様々な考え方について説明できる。</li> </ul> <p>古代日本人が多神教的な宗教観をもち、自然のように清らかな、神に対していつわることのない純粋な心（清明心）を尊んでいたことを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和辻哲郎が唱えた「風土」の考え方を基に、モンズーン型の風土に生きる日本人の自然に対する受容的、忍従的な性格について理解する。</li> <li>・平安仏教における最澄と空海の思想の相違や、鎌倉新仏教における自力と他力の信仰の相違などに着目して、我が国で独自に発展した仏教の各宗派の特徴的な考え方を理解する。</li> <li>・江戸の官学としての朱子学の考え方を理解するとともに、それに対する陽明学や古学、古文辞学による批判を踏まえて、我が国で独自に発展した儒学の特徴について理解する。</li> <li>・我が国における国学の発展について、賀茂真淵による万葉集の研究や本居宣長による古事記の研究を中心に、「もののあはれ」や「真心」を重視した人間の在り方生き方について理解する。</li> <li>・我が国における近代化の特徴について、西洋文化の受容という観点から、「和魂洋才」の発想や、福沢諭吉の「実学」、内村鑑三の「二つのJ」などの考え方について理解する。</li> </ul>

学習指導要領		都立杉並総合高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>現代倫理</p> <p>ア 現代に生きる人間の倫理</p> <p>人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。</p> <p>イ 現代の諸課題と倫理</p> <p>生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルネサンスにおいて、古代ギリシア・ローマの文芸復興が図られ、人間中心主義の文化が形成されたことや、ルターやカルヴァンの宗教改革によって、教会の権威ではなく個人の信仰心を基礎とする考え方が広まったことを知る。</li> <li>・コペルニクスやガリレイ、ニュートンの考え方が近代科学の萌芽となり、宗教的な世界観からの転換を促したことを知るとともに、学問的方法論としての帰納法や演繹法について知る。</li> <li>・ホッブズ、ロック、ルソーの三つの社会契約説について、国家（政府）の成り立ちや個人の権利についての考え方の相違に着目し、社会と個人のかかわりに焦点を当てて理解する。</li> <li>・ベンサムやJ.S.ミルが功利主義の考え方を提唱し、「最大多数の最大幸福」を追求することで市民社会の諸矛盾を解決しようとしたことを理解する。</li> <li>・自己の生き方を自ら選択し決断する、主体的な人間の在り方について説いたキルケゴールやニーチェの考え方を理解する。</li> <li>・社会的弱者への奉仕活動に尽力したマザー・テレサの生き方などを通じて、現実の社会生活の中で人間尊重の精神を具現化することの困難さや尊さについて理解する。</li> <li>・人間の自己実現は社会生活の中で達成されることや、人間の生きがいと社会貢献について、神谷美恵子の事例などを通じて理解する。</li> <li>・人間は社会的動物であり、社会を構成する人々と共に幸福を分かち合いながら、自己実現に努めていくことが重要であることを知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題を考察するための土台として、地球の有限性、世代間倫理、自然の生存権の3点を重視した環境倫理の考え方を理解する。</li> <li>・少子高齢化が急速に進展する中で、子育てや介護の問題が、家族や地域社会を越えて、国の重要な政策的課題になっていることを理解する。</li> <li>・情報メディアを使いこなすだけでなく、情報を主体</li> </ul>	

学習指導要領	都立杉並総合高校 学カスタンダード
	<p>的に取捨選択し、批判的に読み取るメディアリテラシーの重要性について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイドのオリエンタリズムの考え方などを踏まえて、異文化に対する偏見や固定的な思考を排除することが必要であることを理解する。</li> <li>・グローバル化の進展とともに、文化摩擦や外国人差別等の問題が発生するなど、異なる文化や宗教を理解する重要性が高まっていることを知る。</li> <li>・国際社会における紛争や民族対立等を抑制していくためには、国際機関との連携を通じて、世界各国が協調して対応する必要があることを知る。</li> </ul>